

原風景の残る島 Iheya Island

広報

いへや



伊平屋村

6

2023

No.373

梅雨の水面に咲き誇る



ウェルカムイベント

5/3 (水) ゴールデンウィーク初日のこの日、前泊港ポートターミナルでウェルカムイベントが開催されました。

フェリー入港時には伊平屋村青年団協議会によるエイサーで出迎え、村イメージキャラクターのてるたまキングや村民達が来島者を歓迎しました。

この日の来島者数は451名で、港内では特産品の出店が行われ、お酒の試飲や獲れたての新鮮なモズク、黒糖、塩などの試食販売があり賑わいを見せました。



海びらき安全祈願

4/6 (木) ゴールデンウィークを間近に迎えたこの日、伊平屋村商工会青年部主催の海開き安全祈願祭が米崎海岸で行われました。

夏に向け海水浴やマリンレジャーを楽しむ観光客や村民の無事故・安全の祈願が行われ、伊平屋村漁業協同組合の新垣雅士組合長による力強い海開き宣言が行われました。



第1回 ミネラルたっぷり！新タマ収穫祭



5/4 (木) 伊平屋の特産品のひとつでもある新玉ねぎを多くの人にPRしようと、「第1回ミネラルたっぷり！新タマ収穫祭」が我喜屋区の玉ねぎ畑で開催されました。

このイベントは伊平屋村地域おこし協力隊と玉ねぎ農家が企画し初めての開催となりましたが、会場は村民をはじめ観光客や帰省客など多くの家族連れで賑わい、参加者達が袋いっぱいに玉ねぎを詰め収穫を楽しみました。



いへや幼稚園・小学校 交通安全教室

4/25 (火) 伊平屋幼稚園・小学校の児童を対象にした交通安全教室が行われました。

はじめに交通安全普及事業の一環で、村商工会女性部の皆さんから部員ひとりひとりが手作りした太鼓型のお守りを子ども達ひとりひとりにプレゼントしました。続いて本部署職員による腹話術で横断歩道を渡る際の注意点などが話され、道路を渡る際は「車に気をつける・飛び出さない・ふざけない」を守るよう呼びかけました。

子ども達は実際に信号機を使って、しっかりと安全確認を行い元気よく手を上げて横断歩道を渡りました。



こいのぼり掲揚式

4/28 (金) とらず園でこいのぼり掲揚式が行われました。

毎年役場で行われていた掲揚式ですが、コロナ禍が開け3年ぶりの開催となった今回からとらず園に場所を移して行われ、とらず園の入居者や職員の他、伊平屋保育所と幼稚園の子ども達らが参加しました。

おじい、おばあ達が見守る中、子ども達は「よいしょ！」のかけ声と共に力強くロープを引き、立派なこいのぼりを掲揚しました。気持ちよさそうに青空を泳ぐこいのぼりの下で子ども達の可愛らしいダンスが披露され、入居者達は嬉しそうに手拍子をしました。

最後にはおじい、おばあ達が「こいのぼりみたいに元気に大きく育てね。」と子ども達に声をかけながら、ミニこいのぼりを一人ひとりに手渡し、笑顔溢れる掲揚式となりました。



子ども達にプレゼントされたミニこいのぼりは皆さんから集めた「赤い羽根共同募金」を活用し購入されたものです。

沖縄県介護保険広域連合からのお知らせ

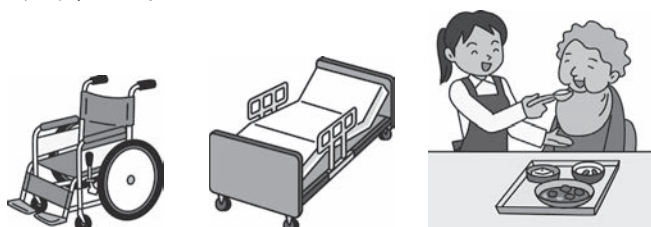
●令和5年度介護保険料の決定について

令和5年度の介護保険料が決定いたしました。納付書払い又は口座引落（普通徴収）の方は7月中頃に納入通知書をお送りいたします。年金からの天引き（特別徴収）の方は9月中頃に決定通知書をお送りいたします。

介護保険料は原則的には年金からの天引き（特別徴収）ですが、年度途中で65歳以上に到達した方や広域連合構成市町村外から転入した方など、新たに第1号被保険者となった場合は、特別徴収に切り替わるまでの間、納付書払い又は口座引落（普通徴収）となります。また、前年度途中で特別徴収が停止となった方も、再び特別徴収へ切り替わるまでの間は普通徴収となります。

●コンビニ収納について

コンビニエンスストアでの納付が可能となり、時間や曜日を気にせずに納付が可能となりましたので、ぜひご利用下さい。



問い合わせ先

◇沖縄県介護保険広域連合 会計課

TEL：098-911-7503

◇各市町村介護保険担当課

（一財）消防試験研究センターよりお知らせ

危険物取扱者試験

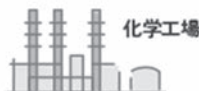
- ☆ 試験日：令和5年8月13日（日）
- ☆ 試験の種類：甲種、乙種（第1種～第6種）、丙種
- ☆ 試験会場：北部農林高等学校、琉球大学工学部、那覇工業高等学校
- ☆ 願書受付期間：令和5年7月4日（火）～7月13日（木）
- ☆ 願書配布先：各消防本部予防課、県宮古事務所総務課、県八重山事務所総務課、ジュンク堂書店那覇店、消防試験研究センター

※電子申請できます。ホームページをご覧ください！

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



これ1つで!!



お問い合わせ先

（一財）消防試験研究センター沖縄県支部

〒900-0029

那覇市あさひ町116-37 自治会館6階

TEL 098-941-5201

「フェリーいへやⅢ船員体験」参加者募集のお知らせ

インターンシップ参加者募集！！

実際にフェリーに乗船して船員のお仕事を学ぼう！

普段は見る事ができない操舵室や機関室の見学も予定しています。

興味がある方は下記連絡先までご応募下さい。



対象者：高校生

実施日：令和5年7月26日～令和5年8月24日までの期間に2日間程度

参加費：無料（実施日は昼食の支給有り）

乗船船舶：フェリーいへやⅢ

募集人数：若干名 ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※尚、昼食費以外の運天港までの移動や、その他の費用は参加者の負担とします。

※参加者はインターンシップにおけるケガ等の保険に加入します。保険料は沖縄県が負担いたします。



*申込み・お問い合わせはこちら

沖縄県 離島航路船員確保・育成支援事業
(株) シャイニング沖縄

TEL：098-868-5658

担当：宮城



労働安全衛生法に基づくのご案内

講習会名	受講料	定員	日 時	会 場	備 考
危険予知訓練リーダー研修	会員 ¥16,170(テキスト代込) 非会員 ¥19,470(テキスト代込)	30名	6/21(水) 8:50～17:00 6/22(木) 9:00～17:00	北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7)	労働災害を未然に防止し、安全を先取りするための優れた手法を習得する研修
アーク溶接特別教育	会員 ¥15,910(テキスト代込) 非会員 ¥19,210(テキスト代込)	40名	学科 7/25(火) 8:50～16:30 7/26(水) 9:00～15:30 実技 7/27(木) 9:20～15:30 7/28(金) 9:30～15:30	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 名護商工高等学校 (名護市大北4-1-23)	アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務
小型移動式クレーン 運転技能講習	免除無し ¥27,705(テキスト代込) 一科目免除有り ¥25,705(テキスト代込)	32名	学科 8/7(月) 8:50～17:30 8/8(火) 9:00～17:00 実技 8/9(水) 8:30～18:30 8/10(木) 8:30～18:30	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 ネオパークオキナワ (名護市宇名護4607-41)	吊り上げ荷重1t以上5t未満の小型移動式クレーンの運転業務(道路上の走行を除く) 実技は8/9・8/10いずれか一日です。申込順に決定します。
ガス溶接技能講習	¥12,280(テキスト代込)	40名	学科 8/16(水) 8:50～17:30 8/17(木) 9:00～11:10 実技 8/18(金) 9:20～15:30	学科 北部会館3階 (名護市宇茂佐の森5-2-7) 実技 名護商工高等学校 (名護市大北4-1-23)	可燃性ガス及び酸素を用いて行う金属の溶接、溶断又は加熱の業務

※申込みは先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。

※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承ください。

※顔写真1枚(縦4cm×横8cm)必要となりますのでお申込み時に提出して下さい。

※受け付け後の申込書と受講料はお返しいたしません。講習日程の振替も行いませんので、キャンセルや遅刻、欠席をしないよう御注意ください。

お問い合わせ先

(一社) 沖縄県労働基準協会 北部支部

名護市宇茂佐の森5-2-7(北部会館4階)

TEL：0980-54-4700

FAX：0980-52-7004

第37回社会を明るくする運動



#生きづらさを
生きていく。

主唱 / 法務省
犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第73回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動” 強調月間・ 再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、
すべての国民が、
犯罪や非行の防止と
更生について理解を深め、
それぞれの立場で力を合わせ、
犯罪や非行のない
安全で安心な地域社会を
築くための全国的な運動です。



“社会を明るくする運動”に参加しよう！

●更生保護についてもっと知りたい方は

法務省 更生保護

●お問い合わせはお近くの保護観察所まで

保護観察所

●更生保護ボランティアについては

更生保護ネットワーク

法務省保護局
公式Twitter
アカウント



法務省
公式YouTube
チャンネル



法務省保護局
公式Instagram
アカウント




一人になるのが嫌だった。
孤立するのが嫌だった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそう。

仲間たちと過ごした時、勇気が出た。
自分にとっては唯一、大切な場所だった。
誰かがそばにいてくれた。

この世に帰ってきたとき、
他人に話しかけて、いま、自分は帰っている。

先がけないと気づいてくれる言葉のかけがえなし。
勇気を出して話しかけてくれる人。
仕事の話も話しかけてくれる人。
自分が話を聞いて、見守ってくださった人。

たくさんの人がいて、
それこそ、生きていく。

一人でもできるようなことだけれど、
自分じゃない。
誰か、話を聞いてほしい。

みんなと一人、でも孤独じゃない。

#生きづらさを 生きていく。



一人ではどうにもならない生きづらさがあります。
犯罪や非行の背景にも、生きづらさがあることは少なくありません。
自らの過去と向き合い、生きづらさを抱えながらも、生きていく人々。
その姿を受け入れ、生かすための包摂するコミュニティが必要です。

立ち直ろうとする人々のそばに、寄り添うこと。
立ち直りを支援する人々の活動を、応援すること。
立ち直りを支援するメッセージを、拡散すること。
そして、立ち直ろうとする人々の、生きづらさに思いを寄せると。

一人ひとりにできることが集まりあえば、
大きなコミュニティが広がります。

立ち直ろうとする人々向けたその先に、
もともと大きな、生かすための包摂するコミュニティを、
“社会を明るくする運動”が目指す、
立ち直り支援の輪に、ぜひ、参加してください。

生きづらさに寄り添い 立ち直り を支援する方法は様々です

●協力雇用主

「就労」と「見守り」の
両方を担う。



犯罪や非行をした人の立
ち直りには、働くことが大
変重要です。協力雇用主は
犯罪や非行をした人の自立
や社会復帰に協力すること
を目的として、彼らを雇用
しようとする事業主です。
全国に約2万5000事業
者があります。

●保護司

「身近で見守る」
立ち直りを

保護司は、犯罪や非行を
した人の立ち直りを地域で
支えるボランティアです。
地域の事情などをよく理解
し、保護観察官と協働して
保護観察を受けている人に
面接を通じた助言や指導を
行い、受刑者等が社会復帰
する環境への働きかけなど
も行っています。全国に約
4万7000人います。



立ち直りを支援する 担い手になる



寄付で
応援する

立ち直り応援基金は、
一口1000円からインテ
ーネットで誰でも気軽に寄
付をすることが出来る仕組
みです。寄付金は、全国の
草の根の立ち直り支援活動
に大切に使われます。



立ち直り応援基金



理解を深め
見守る

自分の過去と向き合い、
罪を償って立ち直ろうとし
ている人々へのご理解を、
よろしくお願いします。



ほかにも、農福事業者、
自助グループなど、
立ち直り支援の担い手は様々です。
そして、食育、スポーツ、
アウトドアだっていい。
立ち直り支援は、
多様な支え合いを必要としています。



●更生保護女性会
更生保護女性会は、地域
の犯罪予防活動や更生支援
を行う女性のボランティア
です。非行問題をテーマに
二集会のほか、子育て支援
活動など、多様な活動をし
ています。全国13万人い
ます。

社会復帰する人の
居場所をつくる

●更生保護施設
更生保護施設は、刑務所
などを出た後、居場所が
ない人たちに宿泊場所や食
事を提供し、自立に向けた
指導や援助を行う民間の施
設です。自立準備ホームは、
更生保護施設以外に宿泊場
所を提供するNPO法人等
が営む施設です。

●更生保護施設
更生保護施設は、刑務所
などを出た後、居場所が
ない人たちに宿泊場所や食
事を提供し、自立に向けた
指導や援助を行う民間の施
設です。自立準備ホームは、
更生保護施設以外に宿泊場
所を提供するNPO法人等
が営む施設です。

●更生保護施設
更生保護施設は、刑務所
などを出た後、居場所が
ない人たちに宿泊場所や食
事を提供し、自立に向けた
指導や援助を行う民間の施
設です。自立準備ホームは、
更生保護施設以外に宿泊場
所を提供するNPO法人等
が営む施設です。

SNSをフォロワー拡散

法務省保護局のツイッタ
ーやインスタグラムなどで
立ち直り支援に関する様々
な発信を行っています。裏
面でも公式SNSをご紹介し
ておりますので、ぜひチェ
ックしてみてください。



●更生保護施設
更生保護施設は、刑務所
などを出た後、居場所が
ない人たちに宿泊場所や食
事を提供し、自立に向けた
指導や援助を行う民間の施
設です。自立準備ホームは、
更生保護施設以外に宿泊場
所を提供するNPO法人等
が営む施設です。

さとうきびの日パレード

4/21(金) 村を代表する基幹作物でもある「さとうきび」への関心を高めてもらおうと、さとうきび増産推進パレードが行われました。沖縄県では糖業振興協会によりさとうきびの振興、農家の生産意欲向上を目的として毎年4月の第4日曜日を「さとうきびの日」として定められています。

この日は村のさとうきび生産農家やJA職員など製糖関係者が集まり、さとうきび生産報告の街宣をしながら島内をパレードしました。



住民健診

5/16(火)～18(木) 令和5年度の住民健診が村産業連携拠点センターで行われ、早朝から多くの村民が会場を訪れました。

視力検査や聴覚検査、採血などの基本健診の他、胃がん・大腸がん・婦人がん検診なども行われました。

年に1度継続して健診を受けることで、病気の早期発見・早期治療や生活習慣病の予防に役立ち、その後の安定した生活に繋がります。今年は受けられなかった方も、自身の健康に目を向けて来年は受けてみませんか。



保育所こいのぼり集会

4/19(水) 伊平屋保育所でこいのぼり集会が行われました。

園児達は園庭いっぱいに取り付けられたこいのぼりを嬉しそうに眺め祈念撮影を楽しみました。

その後、園内のホールで紙芝居が披露され、子ども達が鯉のように元気いっぱい成長するよう願いを込めてこいのぼりを揚げるお話を目を輝かせながら真剣な表情で聞き入りました。



企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

5/15 (月) 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式が役場1階会議室で行われ、村へ7,000万円の寄付をした(株)ブロードエッジ・アドバイザーズの丸岡栄之代表取締役CEOへ感謝状が贈呈されました。

東京都渋谷区に本社を構える(株)ブロードエッジ・アドバイザーズは物流開発事業をはじめ不動産投資開発や飲食事業など様々な事業を展開しています。丸岡さんは「これまで伊平屋村を何度か訪れていて、原風景が残る島の景色に感銘を受けました。これからも美しい自然を維持してもらいたいと思い納税に至りました。」と挨拶しました。



給食センター・とらず園へ 収穫したてのもずくを寄贈

4/27 (木) 嘉納直彦さんと乗り子の桑江竜摩さんが給食センターを訪れ、この日収穫したばかりのもずくを寄贈しました。嘉納さんは毎年もずくの寄贈を行っており、頂いたもずくはもずく酢やもずく天ぷら、もずく丼などに調理され給食に並ぶ予定とのこと。嘉納さんは「今年のもずくは良い出来。島の子ども達にもずくをいっぱい食べてもらい元気で健康に育ってほしい。」と話しました。与那覇了教育長は「子ども達の為に毎年美味しいもずくをありがとうございます。」と感謝の言葉を述べました。

また、5月1日には譜久村辰海さんがとらず園を訪問し、「利用者、職員、ミニデイの皆さんで食べて下さい。」と、かご6個分のもずくを寄贈しました。利用者達は「新鮮で美味しそうなもずくをこんなにたくさん頂いて嬉しいさ〜。」と嬉しそうに笑顔で話しました。



伊平屋のもずくは漁協や
オンラインショップ
【いへやじゅうてー】で
購入できます♪

2代目コミュニティバス安全祈願



コミュニティバスは1日6便運行しており、土日祝日も運行しています。村民の皆さんもお気軽にご利用下さい。

5/25 (木) 2代目となるコミュニティバスが納車され、この日安全祈願が行われました。名嘉律夫村長が拝み主となり、運転手と乗客の無事故と安全を祈願しました。

新しいコミュニティバスは外装デザインがリニューアルされており、村イメージキャラクターのてるたまキングや村魚のイシミーバイなど可愛らしいイラストが描かれています。



コミュニティバス
運行時刻表

第40回新報杯北部小学生バレーボール大会

4/22(土)、23(日) 名護市の21世紀の森体育館・近隣の小学校を会場に第40回新報杯北部小学生バレーボール大会が開催され、伊平屋バレースクールの子も達が混合の部で出場しました。

1日目に予選リーグ、2日目に決勝リーグが行われ各コートで熱戦が繰り広げられる中、伊平屋っ子達はキレのあるサーブやスパイクで得点を重ね、混合の部で見事優勝に輝きました。

キャプテンの山田琉夏さんは、「優勝できてとても嬉しかったです。6月にある県大会では上位を目指せるように、チームでもっとレシーブを強化し、練習を頑張りたいです。」と喜びと抱負を述べました。



伊平屋バレースクールの皆さん
おめでとうございます！

令和5年度 村P連ソフトバレーボール大会



5/21(日) 村離島振興総合センター体育館で村P連ソフトバレーボール大会が開催されました。毎年村内3校の教員と保護者達が親睦を深めるために行われていましたが、コロナ禍で久しぶりの開催となりました。9人制で伊平屋小学校、伊平屋中学校、野甫中学校の各学校教員チームと父兄合同チーム、教育委員会チームに分かれてプレーし、本格的なハイジャンプでスパイクを連発する選手や、とんでもない方向にサーブを打つ選手など珍プレー好プレーが繰り広げられ、笑い声が溢れる大会となりました。混迷する試合を制し、見事教育委員会チームが優勝しました。

大会終了後は総合センター大ホールで懇親会が行われ、表彰式が行われました。

優勝した教育委員会の屋比久健太郎教育指導主事のユーモア溢れる挨拶に会場は笑いの渦に包まれ、賑やかな楽しい懇親会となりました。



伝統文化学習

5/24(水) 令和5年度の伝統文化学習がスタートしました。毎月第3水曜日を「伝統文化学習の日」と定め、地域の方を講師に招いて村内3校の児童生徒が各字の公民館や小学校・総合センターに集まり、三線や舞踊、太鼓にエイサー、昔あそびなど島の伝統文化を学んでいます。

伊平屋小学校体育館で開催された小学生を対象とした青年エイサー教室では、村青年団協議会のメンバーがエイサー演舞を披露し、子ども達も見よう見まねで踊りました。

はじめは恥ずかしがりながら踊っていましたが、慣れてくると徐々に大きな声でかけ声を出しながら、元気いっぱい真剣に取り組んでいました。



前泊鏡石太鼓教室



島尻舞踊教室



昔あそび教室



青年エイサー教室

「令和5年度 夏休み体験教室」参加者募集のお知らせ

●紅型教室

開催日：7月29日（土） 14：00～

場 所：総合センター大ホール

材料費：1,500円

保育所年長さんから大人まで幅広く参加できます♪

・子ども向け トートバック

・大人向け ハンカチ

詳しくは後日ポスター掲示等で周知します。



●PPバンドかごバックづくり

開催日：7月2日（日） 場所：我喜屋公民館

7月9日（日） 場所：島尻公民館

参加料：300円（材料費込み）



●伊平屋英語デイキャンプ

開催日：7月31日（月）・8月1日（火）

14：00～17：00

場 所：未定



申込み・お問い合わせ

伊平屋村教育委員会

TEL 0980-46-2003

伊平屋村の行事予定表 schedule

7月 July

1日	土	伊平屋幼小中運動会	15日	土	いへやてるしのまつり（1日目）
3日	月	健診結果説明会（野甫）	16日	日	いへやてるしのまつり（2日目）
4日	火	健診結果説明会（我喜屋）	17日	月	海の日
5日	水	健診結果説明会（島尻）	19日	水	ウェルはぴプラス(PM) 伝統文化学習・弁当の日
6日	木	健診結果説明会（田名） ミニデイ（田名）	20日	木	ミニデイ（田名） 1学期終業式（3校）
7日	金	健診結果説明会（前泊） ミニデイ（前泊） 保育所七夕まつり	21日	金	ミニデイ（前泊） 保育所サマー保育 親子ふれあい地域療育等支援事業
8日	土	第5回しまくとぅば大会	22日	土	境港交流学習（～7/24）
10日	月	野甫遠泳大会	25日	火	ミニデイ（我喜屋） 予防接種
11日	火	野甫小中学校卒業式	26日	水	ミニデイ（島尻）
12日	水	ミニデイ（島尻）	27日	木	ミニデイ（野甫）
13日	木	ミニデイ（野甫）	31日	月	国保税納期限（第1期分） 固定資産税納期限（第2期分）

伊平屋村 人口動態 (令和5年5月末現在)		田 名	前 泊	我 喜 屋	島 尻	野 甫	合 計	増 減
	男	150	131	160	157	47	645	- 4
	女	112	126	154	116	40	548	- 1
	計	262	257	314	273	87	1,193	- 5
	世帯数	129	121	170	141	56	617	2

表紙写真（撮影場所：田名池 ホテイアオイ
撮影：金城勇人）

